

温かく高みを目指す風土の中で、 どの子どもにもよりよく生きる資質・能力を

子どもたちが安心して、楽しく、伸び伸びと学校生活を送るために、支持的風土はなくてはならないものです。望ましい人間性は、支持的風土の中で培われていきます。子ども一人一人の学びは、支持的風土の中で深まっています。

このことを踏まえ、日々子どもに寄り添い、望ましい集団をつくっていくために、そして、次のような教師の言葉に答えていくための参考資料として、今年度、支持的風土だより「テロワール」を発行することとしました。

- 支持的の捉え方が、個々の教員で違うのが一番大きな課題。「支持的」と「何でもよし」のラインがあいまいな学級が見られる。
- 支持的風土をつくるには、理論がいます。全教職員が理論を学ぶ研修が必要だと考えます。そうしないと各個人の経験主導によって進められてしまうから。
- ほめ合い、認め合うことを教師と子ども、子どもと子ども、いろいろな場面で続けてきているが、よい風土にはなっていない。根本的に必要なことが足りないのだろう。

〔2019年4月授業改革マネジメント研修（小・中研究主任対象）アンケート「支持的風土づくりに係る自校の課題」より〕

支持的風土だより「テロワール」は、学校・学年・学級の実態、子どもの発達段階と照らし合わせながら読んでください。「自分の学級（学年，学校）でいうと、今は〇〇が必要なようだ」「自分の学級（学年，学校）ならもっと〇〇したい」など、目の前の子どもの実態に合わせて読みながら、支持的風土づくりを考える手がかりとしてください。支持的風土をつくるうえで重要な特別活動のポイントについても、今後シリーズで紹介していきます。

次号（2号）は、「支持的風土とは」です

タイトル「テロワール」に込めた思い

テロワール（Terroir）とは、「土壌のこと。また特にワイン用のブドウ産地の耕作環境に関するあらゆる特性」のことです。気候や地形のほか、生産者の人的要因などにより総合的に形成されます。ワインの味の決め手は、ブドウ畑の土地の性質です。

子ども一人一人が、安心して楽しく、伸び伸びと学校生活を送る決め手は、支持的風土です。「**温かく高みを目指す風土の中で、どの子どもにもよりよく生きるための資質・能力を育成していこう**」という願いを込めて「テロワール」というタイトルにしました。



支持的風土づくり 様々な機会

今年度は、たより「テロワール」、計画訪問、各種研修※など、様々な機会に、支持的風土づくりを取り上げ、伝えていきます。

※ 学校マネジメント研修、授業改革マネジメント研修、初任者研修、教頭研修、生徒指導マネジメント研修など様々な研修

相互通行のあるたよりに

このたよりに関する感想等を募集して紹介する、研修に参加した方の声を載せていくなど相互通行のあるたよりに目指していきます。

支持的風土とは

支持的風土は、「何でも許す、なれ合いの風土」ではありません。温かい中にも，“相手の考えを尊重したうえで遠慮なく質問や意見を出し合い、より高みを目指していく”という厳しさをもちあわせています。

ほめ合うだけでは支持的風土はつくられません。次のような判断や行動の基準〈集団規範〉を子どもたち全員で共有している集団の中でこそ、一人一人が安心して、楽しく、伸び伸びと学校生活を送るための支持的風土はつくられていきます。

これは一例です

- 仲間の欠点よりもよさを積極的に探し、みんなで認め合う
- 相手の立場や状況、気持ちに応じて、手をさしのべる、時には見守るなど相手にとって必要な援助をすることに心掛ける
- 一人一人の個性を大切に、仲間の可能性に期待して任せる
- 課題を解決し、互いに高め合っていくために、遠慮なく質問や反対意見を出し合う など

これらのことを踏まえて、学校支援課では、「支持的風土」を次のように定義しました。

支持的風土とは

認め合い、助け合い、期待をかけ合い、高め合う
温かい学級の風土

支持的風土づくりは、同じ手法をとっても、教師の誰もがうまくいくとは限りません。なぜなら、支持的風土の理念を教師が本当に理解しているかないかが、支持的風土づくりに大きく影響するからです。

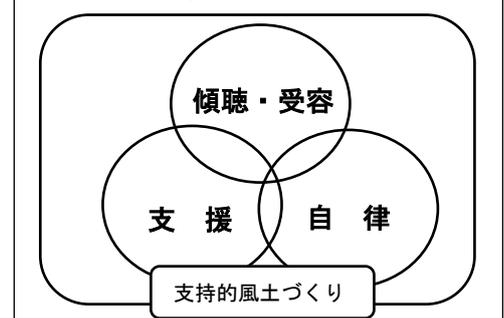
支持的風土づくりにおいて、次の3つが大切です。

「傾聴・受容」 「支援」 「自律」

「傾聴・受容」「支援」「自律」は、支持的風土に向かうための筋道でもあります。

自立に向けて、状況を見極めて適切に判断し、行動するなどの「自律」を体現していくには、仲間の「支援」が必要です。仲間を「支援」していくには、相手の考えや思いを「受容」していく必要があります。「受容」するためには、「傾聴」し、相手の考えや思いに共感することが欠かせません。（この3つの具体については、次号以降で紹介します。）

支持的風土の理念



次号は、『支持的風土の理念「傾聴・受容」「支援」「自律」とは』です

2019年4月

初任者研修参加者の声

初任研でも支持的風土をとりあげました。初めて学級担任をする皆さんの意気込み、熱い思いが伝わってきます。この思いにも応えられるたよりとなるよう努めていきます。

傾聴・受容を大切に、教師として子どものモデルになり、温かい学級づくりに取り組みたいと思いました。

子どもに対応する際、「忙しいから」と子どもの気持ちを先読みして対応を済ますのではなく、子どもの言動の背景に何があるのかを思い浮かべながら、耳を傾けたいです。

初任者研修アンケートより